

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

嚥下造影検査で誤嚥を認めなかった症例における誤嚥性肺炎の再発と食道裂孔ヘルニアの関連

2. 研究責任者(当院)

所属：リハビリテーション室

氏名：川上里奈

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：リハビリテーション科

氏名：高橋博達

4. 研究対象者

2025年2月5日～2025年7月5日の間に聖隷佐倉市民病院嚥下チームが介入した患者

5. 研究の必要性

摂食嚥下チームで行っている嚥下造影検査(以下 VF)は、誤嚥リスクを適確に診断できる評価法として知られている。このVFにて『誤嚥リスクは小さい』と判断されながら、意外にも誤嚥性肺炎を反復する例が散見された。これらの例の経過・VF所見・肺CTの特徴などから、誤嚥性肺炎の再燃となりうる要因を調査する。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

後方視的研究であり、日常診療にて収集した情報のみを使用するため、本研究によって生じる個人への影響はないと考えられます。

今回の検討により医学上の貢献の予測としては、原疾患を理解することで誤嚥性肺炎の再燃の防止につながることで、早期にリスクが高い患者を抽出でき他職種で予防に取り組むことが可能となると考えられる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151 (代表)

担当者氏名：川上里奈

対応時間：8:30-17:00 (平日)